

主な内容	
一般質問議員と質問項目	1
一般質問から	2・3
平成27年度予算審査	4・5
主な質疑	5
3月定例会 議案等審議結果一覧	6



那須烏山市 Nasukarasuyama City

# 議会だより

発行  
那須烏山市議会

編集  
議会広報委員会

事務局  
☎0287-88-7114



南那須中学校開校式 (平成27年4月8日)

3月定例会が3月3日(火)に召集され、3月19日(木)までの17日間の会期で行われました。提出された議案等の審議の結果は6ページに掲載しています。

\*なお、議決された議案等の内容など、詳しくは「広報那須烏山第115号」をご覧ください。

**中山 五男** 議員

- 1 図書館の有り方について
- 2 文化会館について
- 3 合併後10年を迎える。市長の所見を伺いたい
- 4 委託費の見直しについて

**望月 千登勢** 議員

- 1 地域資源活用の取り組みについて
- 2 男女共同参画社会の推進について
- 3 ユニバーサルデザインによるまちづくりについて

**滝口 貴史** 議員

- 1 那須烏山市伝大会について
- 2 学校教育について
- 3 戦後70年の節目の年における市の取り組みについて
- 4 ユネスコ世界遺産県内連携について

**沼田 邦彦** 議員

- 1 大谷市長限界集落回避の3期目の重点施策3本の柱について

**久保居 光一郎** 議員

- 1 JR烏山駅前および大金駅前の開発とその振興策について
- 2 本市の少子高齢化問題の解決策について
- 3 市内の農・商・工業と観光産業の現状と将来の展望について

**相馬 正典** 議員

- 1 JR烏山駅前整備について
- 2 公共施設について
- 3 農業・商工業者の新規後継者への支援について
- 4 農政について
- 5 烏山城跡整備について

**小森 幸雄** 議員

- 1 消防団の現状と今後の取組みについて
- 2 道の駅について
- 3 保健衛生センターの今後の計画について
- 4 総合健康管理センターの今後の運営計画について

**平塚 英教** 議員

- 1 地方創生と人口減少対策について
- 2 高齢者福祉事業と認知症対策について
- 3 本市の下水道事業等水利用率向上について
- 4 産業廃棄物処分場建設問題について
- 5 道整備交付金の有効利用について
- 6 (仮称)那須烏山市歴史資料館について

**矢板 清枝** 議員

- 1 地域包括ケアシステムについて
- 2 健康診断の受診率向上について
- 3 地域資源・人材の有効活用について

**小堀 道和** 議員

- 1 官民協働による人が輝くまちづくりについて
- 2 市役所職員を輝かせる手法活用について

**川俣 純子** 議員

- 1 合併10周年の式典・イベントについて
- 2 大金駅前観光交流施設の運営について
- 3 職員の健康管理について
- 4 那須烏山市民の歯及び口腔の健康づくり推進条例について

**渋井 由放** 議員

- 1 県立烏山高等学校の支援策について
- 2 旧学校施設及び江川小学校の対応について
- 3 デマンド交通について
- 4 中心市街地活性化について
- 5 橋梁の長寿命化計画について

議会の動き	
平成27年1月	31日○議会だより第35号発行
2月	9日○議員全員協議会 16日○議会運営委員会 ○第1回臨時会 ○議員全員協議会
3月	24日○議会運営委員会 ○議員全員協議会
3月	3日○第2回定例会 (19日まで)
5日	○議会運営委員会
6日	○議会運営委員会
9日	○議会広報委員会
12日	○議員全員協議会 ○各常任委員会 (13日まで)
4月	17日○議員全員協議会 19日○議会運営委員会 8日○議会広報委員会 14日○議会広報委員会



一般質問議員と質問項目 (質問順)

※赤字になっている項目は、本紙2〜3ページに質問と答弁の内容が掲載されていますので、そちらもご覧ください。

# 平成27年3月定例会 一般質問から

※質問・答弁の内容は要約してあります。  
会議録は市立図書館及び市ホームページで  
閲覧できます。



透析ベットの増床が予定されている那須南病院

## 沼田 邦彦 議員

### JR烏山線について

(問) 開設90余年の歴史認識を共有し、仮称JR烏山線沿線連絡協議会等を設置し利用向上を図り、その上でアキム導入やユニスコ登録を起爆剤に駅前整備に取り組みべきと考えるが市長の考えを伺う。

(答) 先人の甚大な努力を忘れてはならない。隣接市町との連携を強め、アキム導入等をきっかけに烏山駅と大金駅を中心とした市街地の活性化を図りたい。

### 烏山高等学校について

(問) 定員割れ回避のため

幼小中高一貫教育を実現し、行政・議会・小中高同窓会等で仮称教育懇談会を設置し、地元高校の充実と一体感を持って取り組むべきと考えるがいかがか。

(答) 受験倍率0.9は極めて残念。魅力ある学校づくり推進のため小中高一貫教育の理念で連携強化を図る。また、教育懇談会の必要性は感じるので教育委員会と調整の上、検討する。

### 那須南病院について

(問) 人口透析の増床と駐車場の増設について伺う。

(答) 当面は10床を20床に倍増、将来は30床を見越している。駐車場は遅くとも平成28年度までに法務局の跡地に30台分を確保したい。

### 滝口 貴史 議員

### 市駅伝大会について

(問) 市制10年目の平成27年度の大会は、記念すべき第10回大会である。コースの変更、区間の変更、出場チームの増加等、今から準備すれば間に合うと思うが、いかがお考えか。

(答) 今後の方策については、体育協会、陸上専門部、スポーツ推進委員、行政区長連絡協議会で組織をしている駅伝競走大会実行委員会で大いに議論の上、決定していきたいと思っている。御理解を賜りたい。

### 戦後70年の市の取り組みについて

(問) 戦後生まれが既に60歳の後半を迎え、多くが先の大戦を知らない世代となった。これからの教育現



第9回駅伝競走大会(平成27年1月18日)

場における取り組みをお聞かせ願う。

(答) 地域の人材、素材を活用しながら、記録や資料等を教材として積極的に授業の中で活用していくことは、平和の大切さを指導する具体的な方法の1つと考えており、今後は各学校の実態等にに応じた取り組みが実践されるよう支援していく。また、本年度も各中学校と連携し、継続して広島平和記念式典派遣事業を実施する予定である。

## 望月 千登勢 議員

### ユニバーサルデザインによるまちづくりについて

(問) 高齢化のためさまざまな障がいを持ち始めた市民の皆様に対する公的な支援体制と公共施設での環境対応について伺う。

(答) 超高齢化社会に向かっていく現状では、不自由な生活となる方が多くなると考える。誰もが安心して地域に住み続けられる住環境整備推進の必要性はあるが、公的機関が管理する施設においても整備が遅れて

いる。生活しづらさの解消と安心して暮らせる思いやりのまちづくりを進める。

### 文化会館について

(問) 合併の後、文化会館建設を望む声が上がっている。しかし本市の財政事情からして会館施設は困難と聞くので、本市と共同利用の協定締結できないか。

## 中山 五男 議員

### 合併後10年を迎える。合併の成果と今後の課題は

(問) 本市はすでに合併特例債(約100億円)を殆ど使い果たした上、地方交付税の優遇期間も終わる。合併当初に描いた自立可能な市にどれ程近づいたか。

(答) 合併の後、東日本大



那珂川町のあじさいホール

震災による想定外の被災からの復旧復興を優先させたため一部事業を凍結した。そんな中、小中学校の統合や教育施設等の整備、道路整備などが図られた。

### 歴史資料館について

(問) 南那須歴史民俗資料館は東日本大震災で被災し廃館、烏山郷土資料館も老朽化のため収蔵していた展示品や寄託品は旧七合中学校に移し保管している状況にある。平成26年度中には新たな歴史資料館の建設に向けての候補地の選定も含めた整備基本構想、基本計画を策定する予定とのことであったが、建設に向けての進捗状況、今後のスケジュール、施設の利活用方

## 平塚 英教 議員

### 歴史資料館について

(問) 南那須歴史民俗資料館は東日本大震災で被災し廃館、烏山郷土資料館も老朽化のため収蔵していた展示品や寄託品は旧七合中学校に移し保管している状況にある。平成26年度中には新たな歴史資料館の建設に向けての候補地の選定も含めた整備基本構想、基本計画を策定する予定とのことであったが、建設に向けての進捗状況、今後のスケジュール、施設の利活用方

策について説明を求める。

### 消防団の現状と今後の取組みについて

(問) 消防団は新たに参加する若年層が年々減少し、高齢化が進行している。どのような対策を講じていくのか市長の考えを伺う。

(答) 団員の確保は年々厳しくなってきたのが実情。公務員への入団促進を積極的に推奨し、また、企業等に対し消防団の重要性の普及啓発を行う。

(問) 平日、日中の火災の場合、まず市の職員に現場に行ってもらうことはできないか。

(答) 識見を有する外部委員による委員会と職員で構成する内部委員会での意見提言を踏まえ、整備箇所を烏山郷土資料館等が現在立地しているところに絞り、図書館機能をあわせ持った歴史資料館として基本計画を取りまとめられている。同施設は本市の歴史文化資源を最大限に活用すべく、烏山城のガイダンス機能を中心に展示し、地元高校連携による郷土史研究の拠点、歴史専門図書蔵書に特化したミュージアムライブラリーなどの機能を持たせたいと考えている。平成27年度に有識者、職員等による施設管理運営の調査研究、28年度に設計を進め、29年度に建設に着手、30年度内オープンを目指す方針である。

### 小森 幸雄 議員

### 消防団の現状と今後の取組みについて

(問) 消防団は新たに参加する若年層が年々減少し、高齢化が進行している。どのような対策を講じていくのか市長の考えを伺う。

(答) 団員の確保は年々厳しくなってきたのが実情。公務員への入団促進を積極的に推奨し、また、企業等に対し消防団の重要性の普及啓発を行う。

## 相馬 正典 議員

### 烏山公民館及び烏山体育館について

(問) 両施設とも市の行事、大会等の開催に大きな役割を担っている。今後の整備計画について伺う。

(答) 中央公園周辺は、そこに集積する公共施設の大半が老朽化等の多くの課題を抱えているが、人に優しい活力拠点エリアとして、再整備による活用を進めた



南那須支部消防操法大会(平成26年6月29日)

い。今後、法的手続の準備、土地利用上の制約解消に向けた具体的調整、計画的な財源の確保など、早期実現に向け努力を傾注していく。

**烏山城跡整備について**

(問) 築城600年と言われる烏山城の城跡は、本市観光の重要な資源になる可能性を秘めていると考える。今後のさらなる調査や周辺整備の計画について伺う。

(答) 烏山城の実態を知るための調査を来年度から4カ年計画で行う。その後、整理作業、報告書作成を2カ年計画で実施し、平成33年度には国の史跡指定となるよう順次調査を進める。

また、築城600年の記念イベントに向け、遊歩道の整備、烏山城の文化的価値を見せるための環境整備等、官民協働の組織を設置し検討を進めていく。



老朽化が懸念される烏山公民館と烏山体育館

**久保居光一郎議員**

**本市の少子高齢化問題の解決策について**

(問) この問題は非常に困難な課題であり、さまざまな観点から施策を講じなければならぬ。

ればならない。他の消滅可能性都市と言われる895自治体も同じ思いで取り組んでいると思う。この問題解決のために市長が考えている最重要施策は何か伺う。

(答) 少子高齢化対策は国全体の課題である。そのため市民と人口減少社会の実像と今後の対応について基本認識を共有しながら国・県・市・地域の役割を明確にして解決に取り組むたい。

(問) 少子高齢化の解決策を問うと市長は定住促進・観光・子育て・教育・福祉等々の施策を挙げるが、これらについては、他の自治体の首長も同じようなことを考えていると思う。特に、大谷市政として、また市長が政治生命を賭けても取り組むたいと考えている最重要施策は何かを伺う。

(答) 定住人口を増やすことが一番大事な目標である。総合計画・後期基本計画を基にした市政の公約もあり、その中で、まちづくり11プラス2の具現化に向けて努力する。またそれと関連して地方創生を戦略的に考えていく。

**渋井由放議員**

**デマンド交通について**

(問) デマンド交通は、まずは南那須地区から始まり、昨年の10月から烏山地区でも運行が始まったところである。市民の足として定着しつつあるものと考えているが、現在の利用状況とその評価について伺う。

(答) 南那須地区は平成24



烏山地区デマンド交通出発式(平成26年10月1日)

年10月から、烏山地区は平成26年10月から、それぞれ異なる補助メニューにより導入され、市内全域で整備されたことになった。

導入条件が異なったことなどの影響により、一部で使い勝手が悪いなどの御意見もあるが、解消に向けて予約センター、運行委託業者と市との協議をしている状況である。

烏山地区の状況だが、平成27年1月末の登録者数581名で1日平均の利用者は約20人である。登録者、利用者とも増加傾向にあり、利用者の大半が65歳以上の高齢者であることから、特に交通弱者に対する足として定着していることが伺える。数カ月の判断だが効果があつたと考えている。なお、利用1時間前の予約を30分前までに変更するなど運用面の改善を図っている。

**川俣純子議員**

**合併10周年の式典・イベントについて**

(問) 予定されているイベントや式典の計画を伺う。



からだの健康は歯と口腔から

**矢板清枝議員**

**認知症対策について**

(問) 認知症への理解を深めるためには認知症サポ

ーターづくりが大切である。定期的に養成講座を実施する必要があると考えるが、いかがか。

(答) 平成23年度より小中学校の協力のもと現在までに1301名が受講した。那須烏山市消費者リーダー連絡協議会の寸劇も取り入れ、わかりやすい養成講座にするよう工夫し実施している。学校での養成の取り組みは、心の教育、地域づくりという観点からも大切な取り組みであり、引き続き学校等の関係者の協力を得ながら進める。今後は認知症の方が多く訪れる商店などの企業、若い世代を中心とした取り組みが必要と考える。

**がん教室について**

(問) 小中学生にがんの予防や治療などに関する正しい知識を学んでもらいたいと考えるが、いかがか。

(答) 疾病について具体的に幼少のころから学ぶことをキャリア教育の中に取り入れる可能性は十分にあり、教育委員会と健康福祉課が協力し、がん制圧の教室を義務教育の中でも取り入れたい。

**小堀道和議員**

**官民協働による人が輝くまちづくりについて**

(問) 本市が人口減少や少子高齢化、財源減少などの問題を抱える中、安心安全のまちづくり実現のため介護・福祉、教育、子育て支援など全ての分野で官民一体の協働活動の活発化が急務である。成功の鍵は市長や幹部がいかに関心の協力者たちに感謝と支援の呼びかけを行うかにある。市の賀詞交歓会の対象者を広げたり同趣旨の機会を増やしたりすべきと思うが、いかがか。

(答) 官民協働は極めて重要である。ボランティアや民間の協力者と意見交換ができる場の拡充を検討する。

**市役所職員を輝かせる手法活用について**

(問) 各職員が1項目以上の具体的目標を持った年度の業務計画を立案、遂行する仕組みにより、意欲向上と成果の両方を狙うべき。また、これをPDCAの改善サイクルで回すことで達成感や充実感を実感する意欲溢れる職員集団を育てるべきと考えるが、いかがか。

(答) 目標管理型の人事評価制度導入により、職員の意欲が高まり、組織活性化につながることを期待している。平成27年度に試行し28年度から本格実施したい。



消費者リーダー連絡協議会による寸劇の様子

**3月定例会において審査された請願・陳情**

番号	件名	紹介議員	審査結果
陳情書第4号	集団的自衛権の行使を容認する閣議決定の撤回について	なし	不採択
陳情書第5号	集団的自衛権の行使等を容認した閣議決定の撤回の意見書提出を求める陳情	なし	不採択
陳情書第6号	労働者保護ルールの見直しに関する意見書の採択を求める陳情書	なし	不採択
陳情書第7号	集団的自衛権行使容認に反対する国への意見書提出を求める陳情	なし	不採択
陳情書第1号	那須烏山市情報公開条例の一部改正について	なし	採 択

**3月定例会の本会議日程と傍聴者数**

月 日	内 容	傍聴者数	月 日	内 容	傍聴者数
3月 3日(火)	開会・上程・採決・付託	6人	3日 9日(月)	一般質問	15人
3月 4日(水)	一般質問	16人	3月11日(水)	予算総括質疑	4人
3月 5日(木)	一般質問	10人	3月19日(木)	上程・報告・採決・閉会	6人
3月 6日(金)	一般質問	31人			
計					88人

# 平成27年度 予算審査

平成27年度一般会計、7特別会計、水道事業会計の予算については、所管の常任委員会に付託され、それぞれの常任委員会で慎重な審査が行われました。  
ここでは、各常任委員会での審査の中で出された意見等で本会議において報告された内容を掲載します。

## 総務企画常任委員会

○所管する課等  
総合政策課、総務課、  
税務課、会計課、議  
会事務局、監査委員、  
選挙管理委員会及び  
固定資産評価審査委  
員会

### 総合政策課

○ふるさと応援基金が多く  
の事業に充当されてい  
る。ひとつの事業に集中  
することに、本市を  
応援してくださる方々  
にも協働によるまちづ  
くりの意識が生まれる。  
さらに応援いただける  
方々の想いを積極的に  
反映させるため、ひとつ  
の事業を明確に提示し  
て募集することも検討  
されたい。

○多種多様な施策が示され  
ているが、本市の将来の  
あるべきビジョンが見  
えていない。合併時の原  
点に戻り、市の進むべき  
方向を明確にし、更なる  
意思疎通を図り組織力  
が強化されるよう努め  
られたい。

### 総務課

○人事評価制度の導入によ  
り組織力の強化を期待  
する。また、実施にあ



茅ヶ崎市で導入された防災ラジオ

たつては確実な管理運  
用に努められたい。

○防災に向けた緊急告知ラ  
ジオの導入は大いに評  
価できる事業である。導  
入後はその効果検証を実  
施し、広く市民に利用さ  
れるよう努められたい。

### 税務課

○市民に不公平感が生まれ  
ないよう組織力を強化  
し、滞納繰越分減少のた  
め努められたい。

### 会計課

○歳計現金の管理運用は成  
果がみられ評価できる。  
新年度も引き続き多く  
の情報を得て、有利な運  
用を図られたい。

### 議会事務局

○議会におけるICTの利  
活用は必要不可欠なも  
のとなつている。環境整  
備はもとより着実に導  
入され運用されるよう  
努められたい。

## 文教福祉常任委員会

○所管する課等  
市民課、健康福祉課、  
こども課、学校教育  
課、生涯学習課、文  
化振興課

### 市民課

○マイナンバー制度の導入  
に向け、10月より市民へ  
の通知が開始される。円  
滑な導入に向けた準備  
を進めるとともに、市民  
に制度内容をわかりや  
すく周知するよう努め  
られたい。

○国民健康保険特別会計  
は、財政調整基金の枯渇  
が懸念される。引続き健  
全運営に努め、さらに特  
定健診の受診を促進する  
など医療費増大を抑制す  
る施策を講じられたい。

○診療所は地域の傷病の診  
療だけでなく、疾病予  
防、健康維持等の拠点と  
して重要性が増している。  
急速に進む高齢化に  
対し、その地域医療の拠  
点を持続可能とするた  
めに、地域に根ざした経  
営に努められたい。

### 健康福祉課

○平成28年度から地域支援  
対策の本格実施が始ま  
る。事務に遺漏の無いよ  
うしっかりと進められ  
たい。

○健診費用の自己負担分の  
軽減実施により、がん検  
診の受診率の向上がみ  
られる。引続き市民の健  
康増進、疾病予防のため  
受診率の向上に努めら  
れたい。

### こども課

○ファミリーサポートセン  
ター事業は、11月からの  
稼働に向け、職員確保、  
事務の遂行等遺漏の無  
いよう準備されたい。  
○現在保育園、幼稚園の保  
育士の嘱託職員の割合  
が55%を超えている。な  
んとか人員を確保し運  
営している状態である  
が、今後は園児数の動向  
を検証しつつ、計画的な  
正職員の確保に努めら  
れたい。



英語コミュニケーション科の授業の様子

### 学校教育課

○英語コミュニケーション  
事業は、本市の子供たち  
の英語能力の向上に実  
績をあげており評価で  
きるものである。引続き  
事業の充実をはかり、児  
童・生徒の意欲、能力の  
向上に尽力されたい。

○児童・生徒の登下校の際  
の安心・安全の確保は重  
要である。地域住民のボ  
ランティアによる「子供  
見守り隊」の人選につい  
ては児童・生徒が不安に  
ならぬよう十分配慮の  
うえ編成されたい。

○現在本市でも不登校の児  
童・生徒がおり、学校で  
も対応に苦慮されてい  
ることと思われる。引続  
き不登校解消に努めら  
れたい。

○新生南那須中学校の融和  
融合を早期に進めるた  
め、生徒、教職員、保護  
者が一体となって推進で  
きるよう努められたい。

○若者交流事業として市単  
独の婚活事業を開催す  
るとともに、市内事業所  
との連携も含め、市の人  
口減対策、定住促進に効  
果をあげられたい。

○武道館の新設を速やかに  
進めるとともに、旧武道  
館の跡地整備について  
もよく検討されたい。

○市の歴史文化を学ぶ施設  
として、歴史資料館の整  
備を進めるとともに、内  
外に誇れる資源である  
烏山城について、築城  
600年に向け整備を  
進められたい。

○ユネスコ無形文化遺産登  
録に向け、全庁的な体制  
のもと、連絡調整を密に  
し、遺漏なく取り組まれ  
たい。

## 経済建設常任委員会

○所管する課等  
農政課、商工観光課、  
環境課、都市建設課、  
上下水道課及び農業  
委員会

れず、宝の持ち腐れに  
なっているように見受  
けられる。このことは定  
住促進においても同様  
である。トップセールス  
などにより市の持つ魅力  
を広く発信し、ブランド  
力の向上を図られたい。

○農業は歴史的転換期であ  
り、その支援制度も大き  
く変化している。しかし、  
担い手となる農業者に新  
しい制度があまり理解さ  
れていないように見受け  
られる。期を逃すことな  
く十分な周知を図るなど  
積極的に農業者に働きか  
けるとともに、制度の受  
け皿となり得る団体・組  
織の立ち上げに手厚い支  
援をされたい。

○空き家バンクは、十分な  
物件数が確保できないと  
効果が上がらない。しか  
し、市内には多くの空き  
家があるのに、登録数は  
伸び悩んでいる。仲介  
支援者である宅建業者等  
と調整し、登録のハード  
ルを下げる努力をすると  
ともに、市から所有者に  
直接登録の働きかけをす  
るなど、制度の実効性を  
上げる方策を講じられた  
い。

○本市には、豊かな自然、  
体験型の施設、名所旧跡  
といった観光資源が多く  
存在する。ねんりんピッ  
クで定着した「俳句のま  
ち」のイメージも含めて、  
これらを有機的に繋ぐた  
いで優良な観光商品とな  
る。

○建設事業展開に際して  
は、国県の補助メニユー  
をうまく活用し、少しく  
も市の財政負担を減らす

○建設事業展開に際して  
は、国県の補助メニユー  
をうまく活用し、少しく  
も市の財政負担を減らす

○建設事業展開に際して  
は、国県の補助メニユー  
をうまく活用し、少しく  
も市の財政負担を減らす



烏山八景の句碑の1つ (作者: 早野巴人)

○山あげ会館改修は大きな  
費用を投入する目玉事業  
であるので、きちんとし  
た市の考え方を示した上  
で、地域や各団体の代表  
者等から意見を聴く機会  
を設けられたい。ユネス  
コ無形文化遺産登録を使  
い勝手のよい機能的な新  
たな山あげ会館で迎えら  
れるよう万全を期されたい。

○生ごみの堆肥化や分別収  
集などの焼却ごみの減量  
化は、地球環境の保全、  
また、増加傾向にある環  
境衛生費の圧縮のため  
は欠かすことのできない  
取組である。ごみ減量化  
キャンペーンを展開する  
などし、市民の意識の高  
揚を図られたい。

○建設事業展開に際して  
は、国県の補助メニユー  
をうまく活用し、少しく  
も市の財政負担を減らす

○建設事業展開に際して  
は、国県の補助メニユー  
をうまく活用し、少しく  
も市の財政負担を減らす

○建設事業展開に際して  
は、国県の補助メニユー  
をうまく活用し、少しく  
も市の財政負担を減らす



烏山水処理センター内の施設の1つ沈殿池

よう工夫されたい。一方で地域活力を活かし、育てる「ふれあいの道づくり事業」の拡充を検討されたい。なお、道路建設事業に際しては、事前に地域住民に対し丁寧な説明をし、十分な理解を得た上で行われるよう努められたい。

上下水道課

○莫大な費用をかけた下水道事業であるが、烏山地区の接続率が極めて低い。「まちづくりのため」と理解と協力を得て、少しでも多くの世帯に繋ぎ込みをしていただけるよう本格的に取り組まれたい。その際、決して不利ではない受益者負担金や料金体系の仕組み、資金調達の支援制度、公共下水道のメリットなどを十分に啓発されたい。また、公共下水道が整備されていることは定住促進の観点からも大きなセールスポイントになる。現在計画区域外にある優良住宅団地を計画区域に組み入れることについて再考されたい。

主な質疑

3月定例会での、議員質疑の中から主なものを要約して掲載しています。会議録は市立図書館及び市ホームページで閲覧できます。

国民健康保険診療所運営基金設置及び管理条例の制定について

議員 今までの決算で生じてきた約9400万円の余剰金を積み立てるとのことだが、剰余金はこれから発生する見込みか。

答弁 患者さんの来院の状況にもよるので、経常的に黒字になるかどうかということは明確にはお答えできない。

地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例の制定について

議員 従来、国で定めていた人員配置等の基準について、市が定めることになったものと思われるが、これにより市の高齢者福祉の水準は変わるのか。

答弁 職員は1人増となり介護保険の給付から外れた方のサービスの実施についても、充実が図っていかないと考えている。

保育所の設置及び管理並びに保育の実施に関する条例及び幼稚園保育料条例の一部改正について

議員 利用負担について、一部今までよりも下がるものはあっても、全体的

には現行の負担を超えないという理解でよいか。

答弁 保育園は、ほぼ同額となる。幼稚園は、上がる方も下がる方もいる。



園庭で遊ぶ子どもたち(こここ保育園)

行政手続条例の一部改正について

議員 法律や制度が頻繁に変わる中、問題や混乱が生じやすいと考えるが、職員の教育や鍛錬をどのように行い、これを取り越えていくのか。

答弁 国や専門機関で行われる研修等に派遣し、職員の資質の向上に努めていく。

職員定数条例の一部改正について

議員 定数削減等による職員1人当たりの業務量の増加に対応するために庁舎の一本化の話が出ていた。この道筋がはっきり見えてきていないが、現在のようになっているか。

答弁 合併協議の中でも本

子ども医療費助成条例の一部改正について

議員 子育て世帯の負担軽減を図るため、平成27年4月から県内の医療機関の窓口で医療費の支払いが不要となる現物給付対象年齢を中学3年生(15歳)までに拡大するための改正とのことだが、これにより財政負担は増える。有効に財源を活用する意識をさらに高めていただきたいと思うが、市長の見解を伺う。

答弁 償還払いから2千万円強の増額を予定している。多額な財政支出になるので、出づるを制し、選択と集中の事業展開をする考え方で財政運営していきたい。

平成26年度補正予算について

議員 商工業振興対策費5185万円はどのような内容なのか。

答弁 国庫支出金を財源に20%のプレミアムをつけて商品券を発行する予定である。今後、商工会と連絡をとり、協議しながら進めていく。

平成27年度当初予算に関する総括質疑

議員 債務負担行為の中に小中学校スクールバス運行業務委託の限度額が1億7450万円、平成27年から31年度とあるが内訳等について伺う。

答弁 12月定例会で議決いただいた債務負担行為だが、入札等が終わり南那須中学校に4台、烏山中学校に2台の計6台を配置する。実質的には5カ年で1億1千万円くらいになると想定している。

議員 消防施設整備費の内訳について伺う。

答弁 消防自動車2台を更新し、消防車両の受令機44台分を全てデジタル化に更新する。また烏山地区内のサイレン吹鳴を消防署から一斉に行うシステムを導入する事業費などである。



ファミリーサポートセンター機能を担うこども館

お願いといたことでの仲介、調整を図る目的で設置するものである。

議員 増額されている災害対策費について伺う。

答弁 新規事業である緊急告知ラジオシステムの導入費が大きい。その他、防災メールや県の防災ネットワークなどの防災情報伝達のための様々なシステムの管理費、負担金である。

議員 使用料、賃借料を足し上げると一般会計だけで1億8千万円を超える計算になる。買えるものは買いい、返せるものは返すといった「めりはり」のついた予算編成をしていただきたい。

答弁 普通財産等で使用されないものは速やかに処分し、借地等使用していないものは更地にして速やかに返すような処置をとる方針ではある。公有財産管理運用委員会等で提案し、協議しながら粛々と進める。

議員 基金残高及びその運用について伺う。

答弁 現在、64億円相当の基金がある。一部を国債で運用しているが、これの約2千万円の利子を財源とし、まちづくり団体への補助を行っている。利子運用について大いに研究をするよう指示する。

議員 南那須中学校のスタートにあたり教育のトップとして、この新しい学校にどのような思いで、どのように期待をし

ているのか伺う。



新たに誕生した南那須中学校

議員 平成27年度は、国を挙げて地方創生元年の年である。我が市も直ちに那須烏山市創生本部を立ち上げていただきたい。

答弁 創生本部、またそれに関連するワーキンググループについては、平成27年度早々に設置を考えている。また、地方創生の中でも介護、福祉、医療分野の人づくりは大変重要な位置づけである。市を挙げて努力をしていきたい。

議員 本市では、予算規模を縮小するような努力をしているのか。

答弁 今の116億円規模の当初予算を100億円程度に縮める計画を示しているところ。市の予算規模をあるべく姿にする努力をしていく。

(全会一致)

3月定例会 議案等審議結果一覧

Table with 6 columns: 議案等, 審議結果, 議案等, 審議結果. Lists 28 items with their respective decision outcomes (e.g., 可決, 同意).

(起立による採決)

○…賛成 ●…反対 退…退席 欠…欠席

Table with 15 columns: 議案等, 審議結果, and 13 columns for individual council members (相馬, 小堀, etc.). Shows voting results for 8 items.

\* 掲載は採決順で、議長(佐藤議員)は表決に加わらない。 \* 議案第18号~21号、35号、第1号~第9号は、上程・質疑の後、関連する常任委員会に付託され、最終日に採決

Table with 3 columns: 議案等, 審議結果. Lists 2 items (議案第2号, 議案第1号) with their decision outcomes.

2月臨時議会 2月16日(月)に招集され、提出された次の議案をすべて全会一致で可決しました。

議会を傍聴してみませんか 議会を傍聴することは、市政を知っていたく最も良い方法です。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。(☎0287-88-7114)

6月定例会は、6月2日(火)開会予定です。 \*正式な日程は5月26日に開催される議会運営委員会で決定されます。

あとかき

やっと予算議会が終了した。目を外に転じると我が市のすばらしさを実感する季節である。じゅうたんを敷いたような緑一色の田んぼ。青い空を見上げるとハングライダーが悠然と舞っている。

那珂川を少し下るとラフティングの川下りに興じている若者たち。声が弾けている。

まちに戻る途中、日本初の蓄電池駆動電車アキウムがスマートに目の前を通り過ぎていく。桜が満開の滝を通り一山越えると荒川に着く。荒川流域は数千万年前の中新世時代の標本となる化石が全て出土する地質学上特筆に値する宝の川である。地質学の知識をちよつと学べばどきどきワクワクのウォーキングが楽しめる。

絶滅危惧種の貴重なシモツケコウホネの黄色い花にも出会う。市はこれらの宝物をジオパーク構想として花開かせる計画である。ユネスコ無形文化遺産に登録予定の山あげ行事や和紙の里に陶芸の里ばかりでなく、このような夢の光景に次々に出会えるまちが本市である。ぜひ家族で宝の光景探しを楽しんで欲しい。

(小堀道和議員)

